

捨てればごみ、生かせば資源



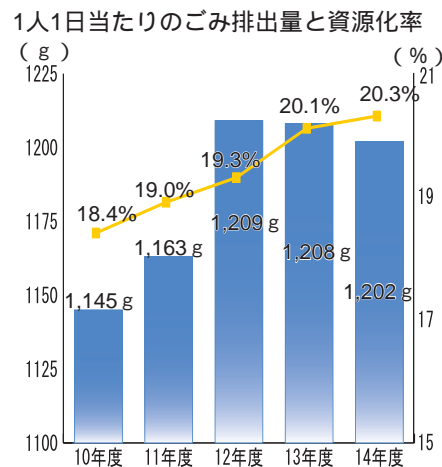
毎日の暮らしの中から出されるごみは、わたしたちの一番身近な環境問題です。資源として使えるものを再利用する「リサイクル」は、ごみの減量や限りある資源の節約、自然環境を守ることにつながります。あなたが捨てたものは、ごみ？それとも資源？今回は、リサイクルについて考えてみました。

ごみ処理の現状

わたしたちの出したごみは、1日当たり975万円(平成13年度)の処理費用がかかっています。ごみが増えると、処理費用が増えるだけではありません。天然資源の枯渇や地球温暖化などの環境問題も引き起こします。ごみの処分には限界があり、市では、去年10月に完成した西部最終処分場の埋め立て年限を8年と見込んでいます。

地球に優しいリサイクル

回収した資源物をリサイクルすると、原材料から生産する場合より、エネルギーや資源を節約することができます。例えば、資源物として回収したアルミ缶を使うと、原材料のボーキサイトから作る場合の3%のエネルギーで新しいアルミ缶を作ることができます。また、ごみを減らすことは、ごみ



焼却施設から出る大気汚染物質のダイオキシン類などの発生を抑えることにもつながります。

佐世保市の1人1日当たりのごみ排出量は、年々増加傾向にありましたが、ここ2年間はわずかながら減っています。一方、資源化率(不要物のうち資源物としたものの量は年々増加傾向にあり、平成14年度は20.3%でした。市では、この資源化率を10年間で約2倍に高めることを目標にしています。

資源物はどこへなるの？

市が分別収集した資源物は、西部クリーンセンター内の資源化施設に搬入されます。種類ごとに保管した後、再生処理業者によって処理されます。資源物のうち、缶類とペットボトルは同施設内の圧縮機で圧縮、成形した後、再生処理業者に引き渡します。その処理の流れを見てみましょう。



西部クリーンセンター

缶類の処理の流れ



圧縮後の缶は、再生処理業者に売却され、アルミ缶は新しい缶に、スチール缶は鉄骨などになります。

缶類は選別機を通して、スチール缶とアルミ缶に分けられ、別々に圧縮機にかけられます。

ペットボトルの処理の流れ



再生されたポリエステル繊維から、Tシャツやワイシャツ、ネクタイ、作業服などができます。

再生処理業者に引き渡されたペットボトルは、ポリエステル繊維やプラスチック製品などに再生されます。

選別作業で、異物を取り除いたペットボトルは、ポリエステル繊維やプラスチック製品などに再生されます。

リサイクルは正しい分別から！

びん類



リターナブル瓶

リターナブル瓶(ビール瓶や一升瓶などの繰り返し使える瓶)とワンウェイ瓶(ジャムや調味料、コーヒーなどの一度しか使えない瓶)の2種類があります。キャップを外して、中を洗って色分けして出しましょう。リターナブル瓶↓洗浄、殺菌・消毒をして再利用します。ワンウェイ瓶↓砕いて新しいガラス瓶を作ります。

古紙類

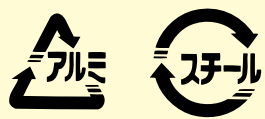


省資源メモ
1家庭の1年分の古新聞(約70kg)をリサイクルすると、立ち木(太さ14cm、高さ8m)を1本半切らずに済みます。

紙の種類によって生まれ変わる物が違います。種類ごとに分別して出しましょう。

ダンボール↓ダンボール箱、トイレレットペーパーの心棒
新聞・広告紙↓新聞紙、週刊誌
雑誌↓ワイシャツ、洗剤、靴などの箱
OA用紙(コピー用紙など) 感熱紙・カーボン紙を除く↓ちり紙、トイレレットペーパー

缶類



省エネメモ
アルミ缶1個のリサイクルで、40ワットの電球12時間分の電気を節約できます。

アルミとスチールでは、再生方法が全く違います。識別マークに従って、分別しましょう。中を洗ってから出しましょう。アルミ缶↓新しいアルミ缶
スチール缶↓鉄骨など

飲料用紙パック



中を洗って切り開き、乾燥してから出しましょう。スープやお酒のパックは、内側にアルミはくが張ってあるので、リサイクルには出せません。牛乳パック30枚(約1kg)から、トイレレットペーパー(60m巻き)が5個分できます。

このほか、古布類、廃乾電池、廃蛍光管、体温計、鏡なども資源物として回収しています。分別して出しましょう。

ペットボトル



PET

ペットボトルの見分け方
「ペット1」の識別マーク
ボトルの底の中心に「おへそ」のような膨らみがある
キャップを外し、つぶして出しましょう。

ポリエステル繊維の部分に使用されたり、ペンケースや水切り袋などのプラスチック製品などになります。

《プラスチック類》

佐世保市では、石油製品であるプラスチックを焼却して得られる高い熱エネルギーを利用する「サーマルリサイクル」の考えに基づき、プラスチック製品を可燃ごみとして回収しています。ごみの焼却による熱エネルギーを利用して、発電など資源の有効利用を図っています。また、食品トレーは、スーパードで回収しています。